

000万
2・7
万円未満
10・9%
が223
減、3億
で25・9
億円未満
8%減、
億円で
億円以上
38・6%
JVが
9%減

て登録し、16日に登録名簿を同局ホームページ【<https://www.cgr.mli>】

業・団体」に登録されたBIM/CI関係熟達者から、必要な時に実践

は工事の実績（発注機関や元請・下請は問わな）などを求めていた。

設計コンサルタント▽砂原組

11月8日に橋梁新技術フォーラム

藤井氏、江良氏らが登壇

コンクリートメンテナ
ンス協会

コンクリートメンテナ
ンス協会（徳納剛会長
写真）は、11月8日の午
後1時から、広島市中区
大手町の広島県民文化セ



ンターで「橋梁の維持管
理に関する新技術フォー
ラム2024」を開催す
る。参加は無料で、定員
530人に達し次第締め
切る。申込み等は同会H
Pで受け付けている。

今回のフォーラムは、「
橋梁の健康寿命を延ば
し、脱炭素社会の構築に
寄与する」がメインテー

マ。

最初の講師として広島
大学名誉教授の藤井堅氏
が登壇し、「鋼橋のメン
テナンスについて考え

毛製造の北蘭亮太氏、吉
原鉄工所の吉原慎二氏も
それぞれの専門分野から
橋梁の維持管理に役立つ
技術を紹介する。

る」に関する持論を披露
するほか、同会の江良和
徳技術委員長は、「橋梁
長寿命化のための亜硝酸
リチウムの活用」と題
し、劣化メカニズムや症
状に応じた補修事例を詳
しく解説。

徳納会長（福徳技研）
は、「事後保全から予防
保全への移行を確実に進
め、適切な補修・塗替え
を行うことは技術者の責
務。本フォーラムが橋梁
の維持管理業務に携わる
皆様の光明になる内容を
提供できると確信してい
る」と話している。

このほか、日本ペイン
トの徳永英彦氏、大塚刷

仮設機材総合